

大学名 東京科学大学

表題 大学統合に向けた両大学のURAが牽引する融合研究の取り組み

取組の概要

2024年10月に東京医科歯科大学・東京工業大学が統合し東京科学大学となることを見据え、両大学のURAを中心に協働し、研究交流のためのイベント開催および研究ファンドの実施等を一体的に取り組み、新たな融合研究を創出するとともに統合に向けた機運の醸成に寄与した。

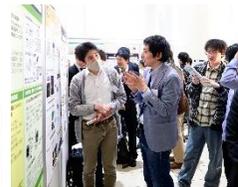
マッチング機会の創出
研究マッチングフォーラム



共同研究資金の支援
マッチングファンド



研究成果の社会発信
研究成果発表・交流会



- オンラインプラットフォームを使用
- キャンパス間移動や時間の制約を最小限に
- バーチャル会場に2週間、ポスター・動画を展示（2023年5月）
- 両大学から79テーマの出展が実現。約200名の研究者が参加するイベントに
- 日経新聞、科学新聞、東工大統合報告書、入学案内に掲載

- 両大学でマッチングファンドを準備
- 第一回はイベント開催直後の2023年5月、第二回は間隔を空けて2023年9月に募集
- 両大学の研究者によるボトムアップ型の融合研究を合計29チーム採択
- 企業からの寄附金獲得

- 研究成果発表を公開で開催（2024年4月）
- 企業約50社が来場、高い関心を集めた

企業からの声
「医工連携が加速すると共に工学的な知見を加えたより発展的な研究に大きく期待が持てました。」

URAがデータを駆使してマッチング

- 事例
- 医歯学系研究者
：理工学系の人と相談したい
 - ↓
 - 理工学系URA
：最適な相手を探す
 - ↓
 - 研究議論実施、URA陪席
 - ↓
 - マッチング成功
材料工学x歯科矯正技術
救命救急xAI最適化



成果

イベントを通じた気軽な研究紹介や交流の機会を提供し、互いの研究者について知る機運が高まった。また、その機運を点でなく継続的な取り組みにするために両大学からの研究資金の支援という形で研究の種が育っていく一連の流れが実現できた。

統合後の東京科学大学においては、単なる医工連携にとどまらず、既存の延長線ではない新しい研究領域を生み出していくことを標榜しており、その最初の一步の試みとして内外にアピールできる成果となった。

ポイント

大学間、組織間での協業は多くの場面で調整や意思の統一が必要とされ時間を要するが、両大学のURAの協働によりイベントやファンドの設計を主導したことで、その枠組みを起点として事務職員や研究者との連携がスムーズに行うことが可能になり、短期間での成果実現につながった。

参考URL

- 「研究マッチングフォーラム」を開催
<https://www.tmd.ac.jp/news/20230612093538/>
- 医科歯科大・東工大の共同研究チーム37組が革新的な異分野融合研究の成果を発表
<https://www.isct.ac.jp/ja/news/mxi4fg9krjvy>
- 日経新聞「共同研究のマッチング ゲーム感覚で楽しく実践」
<https://www.nikkei.com/article/DGKKZO71400960Y3A520C2TCL000/>